

「日本財団助成事業 ALS等におけるコミュニケーション支援体制構築事業」

難病コミュニケーション支援講座@島根

テレビドラマや漫画「宇宙兄弟」で取り上げられたり、昨夏の「アイス・バケツ・チャレンジ」により、ALS（筋萎縮性側索硬化症）の病名と症状は、社会の中に周知されてきました。しかし、実際に支援する方法は十分に伝わっていないのではないのでしょうか。そこで、支援の第一歩であるコミュニケーションについて詳しく学ぶ講座を開催いたします。

基礎知識と支援機器の操作体験を交えたわかりやすい講座です。口文字や透明文字盤を使つての会話、意思伝達装置「レッツ・チャット」や「伝の心」など対象者がよく使っている機器を中心に、基礎的な使い方から、導入方法、入力スイッチの適合など、支援に必要な知識を一通りお伝えします。また、支援者間での情報共有ができるよう、ネットワーク作りも行います。

日 時：2015年9月19日(土) 10:00～17:30、20日(日) 9:30～16:00

※ 2日間参加できる方を優先させていただきます

主 催：一般社団法人日本ALS協会

共 催：日本ALS協会島根県支部・しまね難病相談支援センター

受講料：無料

定 員：50名

会 場：国立病院機構 松江医療センター 3F 大会議室 (〒690-8556 松江市上乃木5-8-31)

<1日目スケジュール 9月19日(土)>

10:00～12:30 ALS等の進行性の神経難病のコミュニケーション支援について (都立神経病院 本間武蔵)

50分昼食休憩

13:20～14:40 ALS協会からのご挨拶・透明文字盤・口文字実習 (ICT救助隊)

(ALS協会島根県支部支部長 景山敬二)

10分休憩

14:50～15:50 グループワーク (20分交代3グループ)

患者さんと会話、iPad、iPhoneの1スイッチ操作、視線入力

15:50～16:10 これからの支援機器について (島根大学総合理工学研究科 伊藤史人)

16:10～16:40 レッツチャット体験

10分休憩

16:50～17:30 意思伝達装置申請について、島根県の状況について、意見交換会

<2日目スケジュール 9月20日(日)>

9:30～10:30 伝の心、オペレートナビ体験 (ICT救助隊)

10:30～11:00 事例報告、トラブル事例 (島根大学医学部附属病院 作業療法士 森脇繁登)

(松江医療センター 作業療法士 加藤伸一)

10分休憩

11:10～12:10 伝の心体験

50分昼食休憩

13:00～15:30 スwitchの適合 (川村義肢株式会社 日向野和夫)

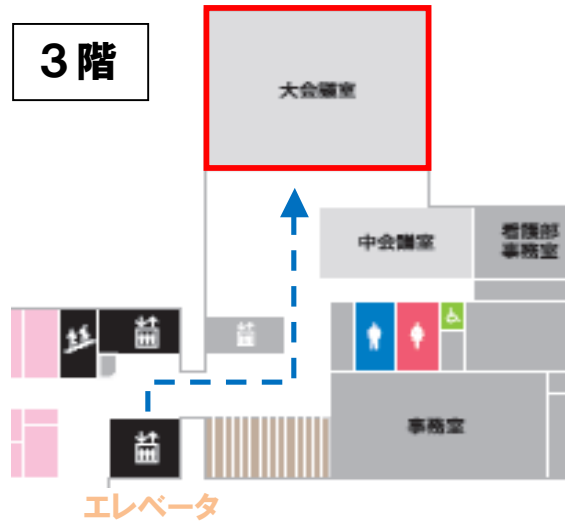
15:30～16:00 まとめ

お申し込み、お問い合わせは9月10日(木)までに下記へお願いいたします。
尚、お申し込みはFAXにて受け付けております。

TEL: 0853-24-8510 FAX: 0853-22-6498

担当: しまね難病相談支援センター

会場案内



バスでお越しの方

松江医療センター前で下車してください。

JR 松江駅から乗車される場合は、4 番のりばから「大庭・八雲行き」「大庭かんべの里行き」「県合同庁舎行き」「平成町車庫行き」が経由します。

車でお越しの方

JR 松江駅より車で約 10 分、山陰自動車道松江中央出口より車で約 8 分です。

出来るだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。